



総遊

No.54
September
2012

Young
Entrepreneus
Group

県大会・YEG大賞

今回は八幡浜で行われました、愛媛県大会の大会事業愛媛YEG大賞に前年度会員交流委員会で行いました『ビジネスエキスカーションツアー』をエントリーし、特別賞を頂きましたのでご報告いたします。この事業は会員間の交流と相互ビジネスの発展のきっかけになればと委員会事業として実施致しました。スケートリンクを借り切ったの走行実験は普段体験できない氷の上を走る貴重な体験となりました。またハンマーや鉄パイプなどで実車に衝撃を加え最終的にエアバックは開きませんでした。事故の衝撃のすごさを知る良い機会となりました。その他にもYEG企業の皆さんの職場の裏側を体験という事で空港の裏側の見学や建設途中の工事現場の見学、大型シュレッダーの見学を行いました。この事業は本年度繁盛委員会が引き継ぎ現在計画ですが、さらにパワーアップしご期待にそえるよう委員全員で計画中です。実施の際は皆さんのご参加宜しくお願致します。会場でのプレゼンは緊張致しましたが、実施した委員会事業がこのような大会でもとても良い評価を頂き大変光栄です。実施に際し協力頂いた委員の皆さん、そして実施させて頂きました松山YEGの皆さん全員に感謝です。ありがとうございました。



繁盛委員会 委員長
弘瀬 昌章



新入会員 新入会員の皆様入会おめでとうございます。



岡崎 靖俊 趣味:旅行
事業所名: 株式会社 寿晃



宮脇 理恵 趣味:スポーツ
事業所名: けんたくん 松山店



山本 英利 趣味:テニス・旅行
事業所名: 南海放送株式会社



小玉 桂造 趣味:海外サッカー観戦
事業所名: 株式会社 愛媛FC



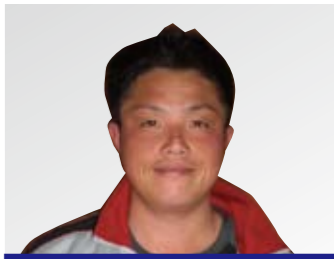
高須賀 敦 趣味:ゴルフ・仕事
事業所名: (株)ビジネスソリューションズ アカウンティング



仙波 未来 趣味:なし
事業所名: 株式会社 グローブコンペティション



薦田 正吾 趣味:ゴルフ・スポーツ観戦
事業所名: 株式会社 アイソウ



田井 考司 趣味:マリンスポーツ
事業所名: 田井建築



二宮 栄造 趣味:ゴルフ
事業所名: 株式会社 岸工業四国



萩野 貴史 趣味:マラソン・テニス
事業所名: 萩野鉄店 有限会社



薬師神 権祐 趣味:釣り・スポーツ
事業所名: 愛媛県民球団 株式会社



由井 仁志 趣味:ゴルフ・車いじり
事業所名: 株式会社 S'chatz Japan



松山YEG会長
加藤 秀章

この夏、松山YEGは大きな一歩を踏み出しました。7月28日、若手国家公務員とYEGが膝を突き合わせて語りあう「故郷の新しい風会議」を四国ブロック共催事業として松山YEGの主管で開催。地方の現状を見ていただく「プレ風会議」も愛媛県連の皆さんのご協力で開催する事ができました。そして8月には、松山まつり堀之内事業「まつこいパーク」の企画運営に取り組みました。当初の事業計画では、何らかの形で参画することを考えていましたが、企画・運営までは念頭にありませんでした。そんな中、5月の連休が明けた頃、堀之内全てをYEGに任せたいとお話をいただき、メンバーの皆さんには苦労をかけますが、松山まつり変革元年ということもあり、思い切ってチャレンジすることといたしました。「素晴らしいまつりにしよう!」その想いを胸に、メンバーの皆さんは毎日のように会議を開催してくれました。多くの難題にも熱い気持ちでぶつかってくれました。段取り八分!ほとんどの段取りはYEGの実行委員会のメンバーが整えました。市民の皆さんが松山城を見上げて飲食を楽しむ姿そして笑顔を見たときに思わず「よし!」と声を出していました。そして最終日に花火が打ちあがった瞬間、本当に感動し、このまつりにチャレンジして本当に良かったと感じました。更に毎年取り組んでいる市民参加「ええやないか松ちやま連」も過去最高の事前登録をいただきました。松山まつり変革の年に大きく確実な足跡を刻む事が出来た事に感謝いたします。この二つの大事業を見事に成し遂げた松山YEGの皆さんを、私は本当に誇りに思っています。ありがとうございました。

平成24年度

松山まつりの堀之内事業を青年部へ委託する！この事が決まったのは5月の松山まつり実行委員会でした。開催まで二ヶ月半、不安だらけのスタートでした。それからというもの連日連夜の打ち合わせ・会議を重ねました。3つの部会を設け、それぞれに委員会を割り振りをさせていただき、部会会議を経て実行委員会を開催しました。各部長・部会執行部の方々の素晴らしい指導力・実行力で、着々と実行へ向けての準備が進みました。私自身にまとめる力が不足している部分が多々あったのですが、杉野副会長・日野副実行委員長・大野事務局をはじめとする皆様に「ご助力をいただき本番を迎えることが出来ました。来場数が増え、不安がなくなったのですが、順調にお客様も集まり2日目のJulietのライブも最高の盛り上がりを見せました。最終日には人がごった返しテールも椅子も足りなくなる状態になりました。そんな中、フナーレの花火が松山の夜空に輝きました。こんな気持ちで花火を見たことはありません。こんなに心に響いた花火の振動もありません。涙を抑えるのに必死でした。この涙は事業の終わりと寂しさももちろんありますがYEGメンバー思い・気持ちなどが込み上げてきたものでした。白石副会長とブラス部会の方々が開いたYEGブラスでは連日盛況で子供達を楽しませていただき、メインステージでは、弘瀬部会長とイベント部会の方々が様々なパフォーマンスで来場者を魅了しました。また別会場では長山さん率いるバトルキッズ部隊が子供達の心を鷲掴みにしました。これらのイベントが盛況に出来たのも岡部委員長・重見副委員長を中心とする設備部会の迅速かつ適切な段取りを忘れてはいけ

ません。親会等との折衝をさせていただいた杉野副会長、何もできない私の代わりに常に適切な指示と段取りをいただいた日野副実行委員長、裏方の部分を嫌な顔せず動いていただいた大野・戸嶋事務局、良きアドバイスをしていただいた永田専務、そして準備・当日運営に携わっていただいたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。本業がある中でまつりに従事していただいたこと、本当に感謝致します。貴重な本場に貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



地域活性化委員会 委員長
麻田晃司



地域連携委員会 委員長
小川哲

まず「ええやないか松ちやま連」の運営に御協力いただきましたメンバーの皆様さん、マスターズの諸先輩方、事務局の皆様さんに改めて御礼申し上げます。今年の松山まつりは堀之内会場でのイベントや、コースの変更など、新しいまつりとなりました。こうした中当委員会としては「まつりのリニューアル」と共に、これまでどおり、誰でも参加できる市民参加型の連をアピールしたいとの思いから「おZEWだよ！全員集合」をテーマに掲げました。不安な面ありましたが、委員の皆様さんからの多様な意見と協力のおかげもあって、登録人数は過去最高となり、大いに盛り上がりました。私個人の感想としても、参加して



れた子供達の弾けるような笑顔は、一生忘れられない大切な思い出となりました。次年度以降も、松ちやま連が更に盛り上がり、いくことを祈念して、御礼の言葉に代えさせていただきます。



研修委員会 副会長
田部井 優介

故郷の新しい風会議松山会議を終えて。去る、平成24年7月28日に故郷の新しい風会議が松山で行われました。この会議は日本YEGの主催の事業で全国9か所で開催される会議です。中央各省庁にて勤務する若手国家公務員とYEGが現在抱える問題や、疑問などについて活発に議論し、これからの地域と日本の未来について話し合う会議です。

これからの仕組み作りに生かしていくような非常に有意義な会議であったともいます。風交流も行われ、会議では親交も深まりより深い話ができたと感じております。このように盛大に開催された風会議も、朝のプレ会議から風交流まで、暑い中、長時間にわたる運営設営していただいた委員会メンバーをはじめ、参加していただいた松山YEGのメンバーのご協力の賜物であったと感謝いたしております。この会議が参加された皆様が一つでも学びや気づきがあり、少しでもプラスになればと思います。ありがとうございました。



青年部の皆さん、こんにちは。8月の松山まつりでは、大変お世話になりました。特に新しい試みであった堀之内特設会場「まつこいパーク」の運営は青年部の皆さんに全面的にお願いしました。さすが青年部、若い力と発想力で期待にたがわず、大成功でした。「たいへん良かった」という市民の皆さんの声を多く聞くことができました。おかげで、松山まつり全体も大きく盛り上がりました。それぞれ毎日の仕事を持ちながらということ、大変だったと思います。本当に「苦労さんでした。ありがとうございました。今回結果された「力」を今後の青年部の活動に活かしてもらいたいと思います。今の日本を変えていく事ができるのは若者の「力」です。自信を持ってください。



松山商工会議所会頭
白石省三

開催にあたり松山YEGをはじめ愛媛県、四国、日本メンバーが総勢100名近く松山に集い、盛大に開催できました。プレ風会議と称し、若手国家公務員の皆様に松山二か所をはじめ、八幡浜、新居浜、今治、大洲、と地域の抱える現状を視察しながら意見を交換し、本会議においてその状況も踏まえ議題別に10組に分かれ、PPP、やエネルギー問題、年金問題、領土問題、補助金や町おこし、少子化問題など、現在日本が抱える問題を地域の現状とリンクし、YEGとしては今の制度への疑問点など、若手国家公務員からは運用されている仕組みに対する質問や矛盾などを2時間にわたり議論をしました。参加者からは、これからの日本の国づくりをしていく若手国家公務員の人たちと直接触れ合い議論をすることにより、自分の持っている現実を伝え、よりよい仕組みとなるよう、また、若手国家公務員は生の声を感じるにより